

令和6年度 新有権者のメッセージ入賞者

別紙3

令和6年9月25日審査

賞区分	作 品	氏 名	学校名	学 年
石川県選挙管理委員会委員長賞	<p>未来を作っていくのは私たちである。たった一票では変わらないと思って投票に参加しないのはもったいないと思う。一人ひとりの投票が私たちの生活に大きな影響を与えていくはずだ。若い世代の意見を政治に反映させていくのは、社会の未来を作っていくのに必要なことだろう。よりよい未来を作るために貴重な一票を責任持って使いたいと思う。</p>	<p>やまもと ここえ 山本 心愛</p>	石川県立金沢伏見高等学校	2
石川県明るい選挙推進協議会会長賞	<p>たかが一票、されど一票。自分1人が投票したところで、結果は変わらないだろうと考える人は多いと思う。だが、たかが一票だとしても、一人でも多くの人が投票に行けば、確実に結果は変わると思う。私の一票で結果を、未来を変えることができるかもしれないと思うと、とてもわくわくする。だから私は投票に行こうと思う。</p>	<p>ままだ きさら 儘田 希桜</p>	石川県立羽咋工業高等学校	3
優 秀 賞	<p>あなたにとって政治とは何か。こう聞かれて私はすぐに答えは出ないだろう。私は正直高校生になるまでは将来選挙なんて行かないだろうと思っていた。だが学校で学びを受けるたび考えが変わった。この先の未来、日本の政治を変えていくのは自分たちだと知った。これから変えていく世代の人として積極的に選挙に参加していこうと思う。</p>	<p>げんま ののほ 弦間 希羽</p>	石川県立金沢伏見高等学校	2
	<p>今の日本の選挙投票率は若者より高齢者が高いです。これからは、私達若者が主体となって社会を支えていく立場になっていく時代です。だからこそ、私は若者が選挙に行くことが大事だと思います。よく分からないという理由で片づけるのではなく、ちゃんと知ろうとすることが大切です。将来のためにも多くの若者に選挙に行ってもらいたいです。</p>	<p>うらべ こなん ト部 瑚凧夢</p>	石川県立鹿西高等学校	2
	<p>来年には新有権者、知ってはいても政治に興味は湧かなかった。しかし、「興味がない」とは「関係がない」と同じ意味ではない。選挙権があるならば政治に関わりがうまれる。そして投票とは政治に対する意志表示で、よりよい未来をつくる手段だと思う。だから私達は自分が思う未来のために投票へ行かなければならないと思う。</p>	<p>いえ あみ 家 安珠</p>	石川県立穴水高等学校	2
	<p>年々、投票率は下がっている。特に私たちの若い世代が問題だ。自分のことではないから投票しないのではなく、自分の未来がこの一票にかかっているからこそ、若い世代の意見が重要になってくる。自分がより暮らしやすい社会にするためには投票をして一歩前へ進まなければならない。だから私は誕生日を迎えて新有権者になったら必ず投票へ行く。</p>	<p>かとう こあ 加藤 瑚愛</p>	石川県立羽咋工業高等学校	3